

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-513579(P2010-513579A)

【公表日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-540712(P2009-540712)

【国際特許分類】

C 0 9 B 19/02 (2006.01)

C 0 9 B 67/10 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

C 0 7 D 498/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/46 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

D 0 6 P 1/44 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 19/02 C S P

C 0 9 B 67/10

C 0 9 B 67/20 A

D 0 6 P 5/00 D

G 0 3 G 9/08 3 6 1

G 0 3 G 9/08 3 8 1

G 0 3 G 9/08 3 9 1

C 0 7 D 498/04 1 1 1

A 6 1 K 8/46

A 6 1 Q 1/02

A 6 1 Q 1/04

D 0 6 P 1/44 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

棒状形 C . I . ピグメントバイオレッド 3 7。

【請求項 2】

長さ 0 . 5 ~ 3 0 μm、幅 0 . 0 5 ~ 1 μm、および平均厚さ 0 . 0 1 ~ 0 . 2 0 0 μm である、棒状形 C . I . ピグメントバイオレッド 3 7。

【請求項 3】

請求項 1 記載の棒状形 C . I . ピグメントバイオレッド 3 7 の製造方法であって、

(a) 粗 C . I . ピグメントバイオレッド 37 を、極性溶媒に、高温で、所定期間、分散および部分的に溶解させること

を含み、ここで前記極性溶媒は、N , N , N ' , N ' - テトラメチルウレア、N , N - ジメチルアセトアミド、N - メチルホルムアミド、N , N - ジメチルホルムアミド (DMF) 、および N - メチル - ピロリドン (NMP) からなる群より選択され、そして、高温は、100 から溶媒の還流温度を意味する、製造方法。

【請求項 4】

溶媒が N - メチル - ピロリドンである、請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

工程 (a) において、顔料を 120 から還流温度に加熱する、請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

請求項 3 ~ 5 のいずれか 1 項記載の方法にしたがって得ることができる、棒状形 C . I . ピグメントバイオレッド 37。

【請求項 7】

請求項 1、2 または 6 のいずれか 1 項記載の棒状形 C . I . ピグメントバイオレッド 37 を、着色有効量含有する、高分子量有機材料。

【請求項 8】

請求項 1、2 または 6 のいずれか 1 項記載の棒状形 C . I . ピグメントバイオレッド 37 を含む偽造防止材料。